

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2015年7月25日 謁見収録

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

はいはい。最近、何か、居合切りをやっている方もえらい何か成績が皆さん。

サツチェル：

ありがとうございます。

北野会長：

運転資金を回すから弾、稼いでよ。大したもんやちゃ、本当に。

サツチェル：

会長のお蔭です。

北野会長：

本当に。今度、居合ができるようになったら次、辻斬りを今度、教えてやっから・・・簡単やから。

メンバー：

おっ

北野会長：

人生は何でもあるんや。あとね、今の株みたいなもんでさ、ETFに225あるやろ？日系22。あれがETFであるからああいうのも勘がよくなればね。もう、大分、勘がいいみたいだから。この波、打っているところでうまいこと波を切っとるわけだから。この前、上海で言っていたとおり、上海、ガッと上がったらどうなった？今？ドッカンやろ？だから、左肩からこっちにグッと切ればいい。ただ、これだけや。

サツチェル：

左肩から。

北野会長：

そうそう。今度は右足を前に出すんじゃなくて、左足を前に出して肩口からバサっとうち切る感じ。袈裟斬りや。ガサッと。一刀のもとで殺さにゃあかんよ、止めをね。必ず、皆さんも大体ほとんどわかっていると思うけれども、テレビでもさ、ちょっと危ないんでないか、危ないんでないかって言い始める。あれがもう前兆が来とるわけよ。そのうちドカンと来る。今まであったショックは全て予兆があるから。そのときに打てるかというところだけ・・・そこをね、バツと打てるかだけ。それは度胸しかないやて。毎日、上がるという保証のない生活をしないとわけだから。あとは忙しい人はちょっと難しいけど、時間がある人はやっぱり練習をしていけばこの前、風が吹く方向がわかるようになるという話もしたし、そういうのがわかるようになるがやて。孔明さんみたいに働かんと出席率が悪い人もいる。笑 あれ見たら、何かそんなこと書いてあったから。お、すごいもんやなと思って。

真田 孔明：

僕が一番、結果が悪いんですよね。参加者の中で。サッチェルと弟と。回数が少ない。

北野会長：

だから、ほとんどの波の状態がそのうち考えなくても自然に波が見えるちゃうもんかさ。だから、貧乏暇なしになったらダメなやて。貧乏になると仕事ばっかさ。次から次へ仕事ややっていてさ、考える時間がないやろ？だから、いつもみんなに言っとるのは動かない、働かないとかさ。えげつないことを言っとるのはそこなんやて。そこをはっきりとわからないと、時間だけが取られていくがやて。仕事っていうのは。そのうちに脳は働いていないけど、手と足が一生懸命、動くようになる。そうすると、ほとんどもう死人やわ・・・俺から言うかね。だから、時間が一番。金で買える最大限というのは何かと言うと、やっぱり時間なん。時間を持っているやつが金持ちなわけよ。それをひっくり返すと貧乏暇なしになるや。だから、貧乏したかったら暇のない生活を一生懸命すると。これが貧乏になるコツのがちゃ。これを必死にやると大体はずっと下がっていくだけで。理論的には簡単なの。でも、学校で習ったことと余りにもかかけ離れているから。学校の真裏やから。うちが。私のうちが。学校の真裏やよ。わかった？

真田 孔明：

本当に場所が学校の裏なんですか？ 笑

メンバー：

笑

北野会長：

皆さん、大学を出て一生懸命ね、6時間かそこらの授業を受けてきてさ、考える余裕も時間もなかったやろがいね。

サッチェル：

確かにそうですね。

北野会長：

そうやろ？僕なんかいつも学校に行ったら停学やから、考える時間が多かったわけよ。どうやったら金を集めようかとさ。どうやったら人に喜ばれるかとかさ。だから、時間の持ち方が違うわけ。皆さんは全科目をどういうの？Aを取るのか、100を取るのかに挑戦してきた人間。だから、何をやってもすべからく、そこそこできるわけ。ところが、この一分野は持っていないやて。これだけしかできないという一分野がないということはちょっと寂しいんでない？全体はできるけど。どういうの？そういうの？大学に入るときに何か評価がどうのこうのって言うやない。平均評価が？

メンバー：

偏差値。

北野会長：

偏差値！いいこと知っとるやないか！ 笑 だから、偏差値で勝負してきた人はこの一途っていうのは難しいんやて。だから、これだけにかけるなら、これだけのことを考えなきゃ。そうやる？宙ぶらりんのことを毎日、必死にやると必ず死ぬがやて。そのうち、今日も忙しい、明日も忙しい、明後日も忙しい。忙しいうちはね、この間も孔明さん、心が亡ぶと書くやろ？そんなもん大体、ここから亡んでいっとるや。体が飛んでしまうんやて、そうならないように。まだやの・・・乾杯する時間もないの。

店員：

お待ちせいたしました。

北野会長：

ついでにビール、10本か20本か出す用意をしておいて。

店員：

かしこまりました。

北野会長：

ご苦労さまでした。（乾杯）サイダーはおいしいぞ。みんな、金、儲かったらドンペリタワーでもつくって。

真田 孔明：

ちなみに会長、今回、皆さんが居合抜きをやった中で失敗パターンが共通であったんですけど。Tが上がり過ぎたじゃないですか。あれでグッと上がったときにみんな売りから入ったのですよ。塩漬けですよ。

北野会長：

売りから入った？

真田 孔明：

バッと上がっていったじゃないですか。ここからまたガクッと落ちるんじゃないかなって言って、それでうちの弟も一撃やって、サッチェルも。

サッチェル：

大分、売りで持っていますね。今。

北野会長：

本当。

真田 孔明：

あとほかのメンバーも何人かそれをやっちゃったっていう。今回の場合、予想に反して突き抜けていったって。笑

北野会長：

ちょっと上がり過ぎやね。

サツチェル：

三寒四温の来るんじゃないのかなと、ちょっと個人的には思って売りでいっぱい持っているのですけど。

北野会長：

ちょっときついね。

真田 孔明：

ああいうときに会長は全然、売りから入っていないですから。T。あのバンって行ったとき。

北野会長：

俺はもともと150円ぐらいからTを集めとった男やから。何百万株かまだ抱えとる。

真田 孔明：

持ち続けている。

北野会長：

どういうことか言うと、前にも言ったけどTはタカの人がNKのように潰れないよと。絶対に間違いないとこう言うもんで集めたんやわ。株をね。どんどん安くなっていくから集めまくるタイプのやて。私が狙っとるのはもともとね、皆さんは知らんけど8,800円ぐらいまであった・

メンバー：

え～

北野会長：

高値は。Tの高値は。いつか、皆さん、暇な日があったらバブル時分にね、大体8,800円ほどやった。だから、それと今ね、この間、大分前に聞いたんやけど、5,000億ぐらいプラスなんやて、今、Tが。

真田 孔明：

プラス要素ばかりじゃない。

北野会長：

プラスがやよ。収益プラスが。何で配当を出さないんやと。被害者がいるがにそんなバカなことできないでしょ？だから、叩かれた分だけ締りがよくなって筋肉質になっていい方向に回っているんじゃないの。

真田 孔明：

いい材料ばっかなんですね。じゃ。今、まだ、株価はあれでもまだ全然、安いぐらい。

北野会長：

だから、俺から言うと今が10分の1なの。

真田 孔明：

10分の1。

北野会長：

今が。元の値段が88やから。88か9,100円ぐらいまであったかもしれんな。だから、Tがガタンときたら、ほかの電力もバタバタバタときたんやよ。もともとはみんな1回、50円配当で年2回ほどやったんやから。覚えておいてよ。だから、今ほ、皆さんは今の時代の人やから。僕は昔の時代の人やから。昔の値段をよく知っとる。全部、Tに引っ張られてみんな相場がガラガラと崩れた。電力株は。そういう経緯があるわけ。だから、下がったときの問題、全体が俺が言っとることが合うわけじゃないんやからね。ただ、今日の私のメールを見ても楽天証券から何せ、全部、先週と比べたら全部マイナス、マイナス、マイナス、利益率が何と平均したら20%あったやろ？初めて。一番よかったのは27.5%ぐらいの利回りがまだ一番いいほうやった。あと、AKが20割って、19.いくつになっとったよね？だから、そういう。去年も一緒のことあったんやて。今ごろずっと沈んできてさ、暮れに向かって30、40ぐらいまで上がっていったんやて。

真田 孔明：

確かにそうですね。今の時期って何かグタグタしていましたよね。

北野会長：

グダグダしとるんやて。大体いつもこの波にだからここで逃げるやつは大体スカタン。今年も俺、くっついとるんやけど、くっついとるたって株もやっているし、どこに行きようもない。最近上海みたいなやつをずっと待っとるんやて。

メンバー：

底を待っているんですね。

北野会長：

あれはもう底は打たんのやて、あのダカダカダカで終わり。もう政府が弾を入れ始めたらもう終わり。

真田 孔明：

次の日にはバンと跳ね上がっちゃっていますよね。あの日にやりに行っていなかったら終わりでしたね。売れないっていう日に。次の日に相当、跳ね上がっちゃっていましたね。

北野会長：

だから、次にそうやって変動するが。だから、自分がどう読むかちゅうかさ、空気を感じるかだけなんやて。だから、ここに扱う銘柄も違うし、感じとることも全部違うんでない？

真田 孔明：

Tじゃ、あれかな。今からもう下がるってことはないかな。

サッチェル：

結構なペースで1日、20円ずつぐらい上がっていった。いつも下がるんじゃないのかなって。

真田 孔明：

みんなちょっとの売りで行こうかなっていうぐらいでやっていたら、何か、さらに行っちゃったんだよね。

サッチェル：

そうなのですよ。

真田 孔明：

あれだけ上がり過ぎたから。

サッチェル：

結構ポジションを取っちゃっているんだよね。ボンボンボン。

メンバー：

さらに下がるから危ないと思って。今後まだ原油の価格が下がっていくという感じかもしれない。まだ、上がるかもしれないですね。

真田 孔明：

もっと？

メンバー：

わからないですけど。

サッチェル：

僕はビビリなので、今、両ポジションに切り替えました。売りと買い、両方建てて。毎日どちらか利確していくみたいなの。

北野会長：

そう、わしも小波のときは両建てをにかけておいて、1円でも2円でもいいやと、俺の場合は。だから、10万株持ったら2円上がっても20万ずつ入ってくるんやから。2円下がっても今度、下げの玉を、手仕舞いしていけばええんやから、簡単なんやて、本当は。

サッチェル：

それが合ってるんですね。

北野会長：

そうやる？

サッチェル：

はい。

北野会長：

本当はね、そんなにね、一番簡単な商売をやっているの、俺はやよ。

サッチェル：

でも、その会長がおっしゃるのはよくわかりました、やってみて。

北野会長：

そうやる？

サッチェル：

はい。1円を取れっていうのは。

北野会長：

だから1円でいいんやて。

サッチェル：

はい。

北野会長：

居合で1円を取れたら天才のがやから。本当に取れない。1年中やってもたった1円だけ取ったというて本当にないもん。

サッチェル：

逆にですね。

北野会長：

ないんやて。200円、300円の株でも1円っていうのはものすごい難しい。紙一重やから。ピヤット。波の、白波のちょうど頂上をパンと切るみたい。この何かね、極めつけや。

真田 孔明：

Tで売りポジションを持っている人はそれ・・・

サッチェル：

売りポジションは手数料がかからない。

北野会長：

あれね、年間を通して3.0何パーセントかかるんやて。買い、売りともに恐らく。

サッチェル：

買い建ては毎日かかりますよね。金利。でも、売り建てはかからない・・・それが。

北野会長：

売り建てはかからんのかな？

サッチェル：

毎日かからないですよ。

メンバー：

かかるんじゃないの？

サッチェル：

毎日？。あ、毎日かかっている？

メンバー：

かかりますよね。

サッチェル：

買い建ての分は金利の分が毎日のように増えていく。

メンバー：

金利は出るんですね。

サッチェル：

そうなんだ。

メンバー：

ずっと借りていくから1日ごとに増えていく。

サッチェル：

ウソ。売り建ても？

メンバー：

決済のときに・・・

サッチェル：

そうなの。

メンバー：

楽天証券はかかっていますよね。確かね。

北野会長：

かかっとるやろ？

メンバー：

かかっていると思います。

北野会長：

かかっとる。かかっとる。

サッチェル：

売り建ても？

北野会長：

俺、この前、何かでね、電話をかけとったとき、いや・・・

サッチェル：

株がないときにすごい金利がかかるやつあるじゃないですか？

北野会長：

そうそう。カスタム。

サッチェル：

それが怖いだけじゃないの？違うんですか？

メンバー：

いや、かかっています。

サッチェル：

え、そうなの。333円でやっと売れてよかったと思ったんだけど、あれ、もしかしたらマイナスかもしれない。1カ月ぐらい借りてた。

メンバー：

いっぱい持っているとなマイナスになる可能性はあります。

サッチェル：

そうなの。

北野会長：

そんなのわしらもぼっかけ始めたら1年でも借りっぱなしやよ。1年でも2年でも。

サッチェル：

上がるまで。

北野会長：

上がるまで・・・そういう気性のやるね。

メンバー：

含み益がありすぎる・・・

メンバー：

笑

北野会長：

どんどん、ぼっかけるタイプなんやて。俺は金持ちやから。余り損は怖くないの。「バカ野郎、お前、殺してみ」みたいな感じやから。どんどん突っ込んでいくんやてね。

真田 孔明：

下がったら下がったでチャンスだと。

北野会長：

すごいそういうことをしとるんやて。あと、貧乏暇なしで暇があるようになったらETFじゃなくて外国の為替あるやろ？例えば今、インドネシアが下がるとるわね。そういうのを見とけばええんやて。やっぱりETFでもあるし、FXはそんなに・・博打的やからあんまりやらんほうが俺はいいと思うんやて。決まったレースは大丈夫やよ。俺もこれは間違いないというレースは参加するがやて。普段は、余り参加しないの、動かないときは。結構そういうところは固い。でも、あれも例えば何がいいかな。香港の、香港の人おらんね、ここに。香港は例えば香港ドルは2年ぐらい前に10円やった、1ドルね。それでそこで二つのことを選択ができる、俺から言うと。一つは香港ドルを買って寝かせる。香港株を買う、買っておく。H株とかさ。それであこらに何億か弾を入れておいた。今、香港ドルが15.9かそこら、16ほど前後でブレとるがやて、こうやって。そうしたら株価が一緒でも60%はこうバッと抜けるわけや。それはさ、例えば皆さんの好きなタイでもさ、パーツが2.5なのか、今は3.いくつやわいね。そういうことなんやて。俺が言うのは。だから、俺は6科目、9科目の科目はしたことないから、1科目だけなんやて。このね。剣を使った拳法とあとは何か要は抜き上がりやちゃね。これを要は波は高くなると必ず下へ落ちるという習性がある。これを21か2か3の時に見えただけ。それがいろいろな証券会社のあんちゃん達と一緒に酒を飲んでいろいろな話を聞くわけないやかいね。だから、この間も言ったとおり楽天は、会社一つしかないもん。みんな、考えて。野村や大和やSMBC一個だけ？。全国にあるぞ。各県に二つや三つあるところももっとあるところもあるわけやろがね？そうしたら、そこに何がおる？電気、水道、ガス、従業員や。でも、やっていることは同じやろ？でも、昔は私が聞いた時は本店がAという株を買うと。バカなお客さんを集めてさ、酒を飲ませて買え、買え言うて上がります、上がります言うて買わしたわけや。自分が例えば500円で仕込んだものを700円ほどで売るとるわけよ、一生懸命な。お客さん、全部手に入ったとき、全国で。今度、野郎は何しとつか言うたら逆に売り込むわけや。売った下がれば下がった差額が入ると。こういうようなことをやとった。それに反目を打ったのが今の三木谷さん。これは反目を売ったわけや。こんなバカなんことをやっていたら日本の経済は持ちませんよと。清く、正しく、美しくやりましょと。これが一つのスローガンや。だから、諮問委員のトップを大きく取るわけよ。だから、正当なものでないとこれからは伸びていけないということを言っとる。やんちゃしていても正当化せんと。わかった？やんちゃしても正当化していかん。正当になるように組み合わせをパズルにしていかならん。これがこれからの難しい点。だから、まず忙しい人は暇を持つようにしてください。それしかもう言えん。それしか言えん。必死に。

メンバー：

種銭と暇か。

北野会長：

そうそう。

メンバー：

種銭と暇ですね。

北野会長：

でも種銭はね、これから銀行はもうまだまだ出してくるがやから。今、皆さんは冗談やと思って聞いといて。今、貸し出しができない銀行は合併していただきますから。これがやられたら。だから、皆さんのところはみんな一匹狼かもしれんけど、甘い話が回ってくるわけよ。借りるときは清く正しく美しく返済しますと。でもね、2,000万でも2億でも一緒やけど、分割で返すわけやから、慌てて博打する必要はないんやて。一生懸命バツと動いて、働いて、脳がパンクするまで考えてもじゃあないと。ゆっくりとだから、いい図面を描いてどうしたらいいがかと、最後の返済日まで考えればええんやから。わかった？それぐらいの心の余裕を持たなきゃ、このゲームだけは死んでも勝てん。孔明さんも書いとるようにそんなもんね、必死に働いてね、物販をやってやよ、そんなもんすぐイスタンプールまで行くが。笑

メンバー：

笑

北野会長：

簡単に行けるんやから。そうやろ？すぐ死ぬがやて。だから、それぐらいを今日はだから、貧乏暇なしにならんように。独立してしまとるんならね、みんながね。だから、もう少し余裕を持って、そんなね、8科目やらんでもええんやから。せいぜい棒グラフ、折れ線グラフ、あれが山の頂上がどことかさ、どれぐらい下がるとかさ、頂上になれば必ず下がる。山が高ければ谷、深しに決まるとるんやから。昔から。富士山でやれ、立山であれ、白山であれ、高い山は必ず谷も深いわけやから。これぐらいだけを頭の中に入れて人生を送とりゃ。

真田 孔明：

高いところを見抜くのは難しいですね。Tみたいなのね・・・今回の。あれは山かな？ちょっと下がるかなと思ってたもんね。

サッチェル：

1日、下がったんですけどね。僕は取りましたよ。空売りで。またもっと上がっちゃって。でも、今はね、両建てをしているから。どちらでもいいの。上がってもいい、下がってもいい。あとは待つ。

北野会長：

だから、両建てををかけておくと最後に両極を離れたときにプラス、マイナスはほとんどチャラみたいなもんやから。だから、それがええんやて。

真田 孔明：

いざというときにですよ。

北野会長：

そうそう。

真田 孔明：

上がりきっちゃったとき、下がりきっちゃったとき。

北野会長：

でもね、孔明さん、これを反対に見ると小波に両建てをにかけておきゃ、永遠に自分のものやからね。プラス2円、マイナス2円、この4円は永遠に自分のものやから。

真田 孔明：

サッチェルとうち弟がそれをやっています。

北野会長：

本当？賢くなったね。あんたらち。もはやちょっと教える、教えんでもこんなことできるちゃ。結構、悪賢いな。それとね、あとはもうETFも日系225にしる、ほかのさっき言った為替にしる、全部、同じやから。全部同じ。あとね、どれぐらいの弾やったっけ。あんたの弾。3,000万で40万、300万で40万。何かそんなこと書いていなかった。

真田 孔明：

300万、回しているだけだよね。サッチェル。

サッチェル：

今、僕320万です。

北野会長：

でも天才やわ。

真田 孔明：

で月30万ちょっと。

真田 孔明：

弟はいくらで回しているんだっけ、あれ？

サッチェル：

弟は400万ぐらい。

真田 孔明：

400万で40万の？すごいね。

サッチェル：

そうそう。

真田 孔明：

真面目にやっているね。

サッチェル：

本当に会長のおっしゃるように1円を取って行ってますもん。

北野会長：

だから1円を取りに行くと2円、3円はもっと簡単に取れるやろ？

サッチェル：

はい。

北野会長：

あれは仕方ないんやから。僕が望んだら1円のがやて。それ以上の愛はいらないよ。4円も上がってしまって弱っとるのに、俺も。本当よ。

サッチェル：

1個だけ質問よろしいですか？

北野会長：

いいよ。

サッチェル：

例えば350円で買ったとするじゃないですか。どんどん下がっていっちゃて340円になりましたと。そのときに340円で下がったら買うじゃないですか？現物を買ったときにこの平均で売却していいのか、それとも350円で買ったやつは350円以上で売るのがか。

北野会長：

そこに未練、残すのか、残さんがか。

北野会長：

平均で売っちゃっていいってことですか。

北野会長：

そうそう。そんなもん関係ないわいな。

サッチェル：

弾をどんどん回したほうがいいってことですね。

北野会長：

そう。

サッチェル：

なるほど。

北野会長：

弾回しゲームがやから。

真田 孔明：

残っちゃっているやつは利益出ちゃったら全部・・

サッチェル：

上と下でもう消去しちゃったほうがいいってことですね。なるほど。やっぱりそうなんですネ。

メンバー：

やっぱり弾が多いのがいいね。

サッチェル：

弾が多いほうがいいってことですね。

北野会長：

結局ね、我々は弾回しゲームをやっとるわけやから。だから、利益1円で未練が残ってでも忘れること。明日はもっといい女が現れる。そうやる？こういう具合に思ったら結構、何でも簡単に・・わかった？

サッチェル：

わかりました。

北野会長：

銘柄はあるが。永遠に。わかった？TDいう銘柄は明日にね、HDに変わるわけでも何でもない。CDに変わるわけでもなんでもないんやから。銘柄は永遠におる。

真田 孔明：

暴落したときに買ったやつは持っておいていいんですよね？

北野会長：

暴落した？

真田 孔明：

株価が暴落したときにガツンと下で掴んだやつは。

北野会長：

株はね、基本的に勝つっていうのは簡単なの。一番安いところで買って、どういうの。Tみたい下がった8,800円のが150円になった後、例えば300円のが250円になったところで天と地、違う。割合がね。だから、この前、マイクロソフトとそんな話をしとったやろ？彼らは安いときに市場にみんな投げ売りをかける。ダーっと。そんたら金持ちは何を考えとる言うたらあの会社が別に死ぬわけでない。全部株を買い占めて俺の物にしてやろうと思ったやつが大金持ちになっとるわけよ。わかった？だから、あのビル・ゲイツなんか見てみらが。テメエのところの会社を売っているんだから、あれ。あんなもんよう、刑務所に行かんでも済んだね。あれぐらいやっぱりどこかこころに研究しとるんでない。あれはでも不思議やよね？ロイターでも何でも書いとるような話題なのに、やっぱり金の力か企業努力か。だから、働く人な皆さんね、下の従業員1人、使こうて2人でも100人でもいちゃ。使ってさしておけばええやん。あんたらちは必至になって働いたってね、そんな口なことないわいね。大した儲かりもせんし。収益が出たと。1年目、収益が出たと。税引きでこうやっていって企業体としてどうなの。あれは？

メンバー：

税金が大分、取られます。

北野会長：

税金43.5%ぐらい取れるやろ？それで運転資金やら投資やらしていったら金っていうのは、会社に残る？

メンバー：

残らないですね。

北野会長：

残らんやろ。俺も今言うたことを俺も不思議のがやちゃ。43年も商売をやっていて。いつもいつも黒字。今、出て来るときもおう、黒字でした言うて。あ、よかったねって。じゃ、その儲かったお金どこにあんの？って。全然、見えない・・・本当に。なぜか儲かった年には車を買ったり、船を買ったり、ゴルフに余計、行ったりはしとるよ。それ以外にじゃ、赤字になったときにどこかね、どこかからお金が降りてくっか全然、持って来る人がいないんやて。だから、もう嫌々黒字にしとる。黒字にしておくと例えば、政策銀行とかさ、銀行がさ、決算書を見て、「あ、会長のところいいですね。いつも儲かっていますね」たら、「おう、43年、黒字、続きで終わっとる。」金はどこを見てもない。本当よ。ないよ。

メンバー：

笑 ないですね。

北野会長：

これが実態やて。でも、自分の名義で買った株っていうのは投信でもほっときゃさ、20%を切ってるが増えとるよ。金はこうやって徐々にこうやって。去年なんか、四十何パーセント増えたんやから。やっぱり増えとる。会社ってあれは何のが。俺も最近ね、暇潰しにやっとなる会社でもやっぱり何となくね、不信感があるがよ。嫁はんが浮気しとるような話。

メンバー：

あれだけ朝、目が覚めたら今日も綺麗やねって言うじゃないですか。俺もちょっと考えないといけないな。

北野会長：

いやいや、それはそれ。人生はやっぱり帳合よく生きんと、嫁を敵に回したらもう終わりやよ。砂糖を余計、与えて糖尿病。でんぶんを余計に与えて高血圧。決まっとるんやから。そんなもん。二者選択みたいな人生はお断りせんならん。

サッチェル：

会長が銘柄を増やすときってどういう感じで増やしていくんですか？

北野会長：

俺はこの間も言ったけどiPadの・・・何十行の、普通のiPadあるやろ？あこでパッと開いたらすぐに見れるだけの数しか入れていないの。

サッチェル：

結構、銘柄はどういう基準で増やすんですか？例えば、これがいいとかあれがだめだとか。会長銘柄はどういう選定基準があるんでしょうかという。お教えいただいたものでしかやっていないので。

真田 孔明：

僕たちNDとNYとTDぐらいで。

サッチェル：

その三つしかやっていないです。

北野会長：

あ？三つで。あと、今度プリントして回すように。TYとかね、SBとか高いものは。高いものもやっとなるんやて。それで、一番最初に失礼やけど、素人さんが二、三百円なら扱いやすいやろと。

真田 孔明：

わかりやすいですね。

サッチェル：

本当にわかりやすいんですよ。教えてもらった銘柄いいんですけれども。

北野会長：

これ結構、今度、学校の先生になろうかなと 笑

真田 孔明：

むしろ、TDでもちょっと辛いぐらい。

北野会長：

そういうのを会長は、選ぶ基準ってというのはどういう基準で増やしていったのかなと。とかでもいいんですけど。やっぱりニュースとかでいいなと思うのをどんどん出していく感じなんですか？

北野会長：

そうそう。

サッチェル：

そうなんですか。

北野会長：

だから、自分の感覚さ。

サッチェル：

感覚なんですね。

メンバー：

感覚。

真田 孔明：

陽創門。

メンバー：

東証一部がいいんですか？

北野会長：

私は東証一部にこだわるのは、買っとる株数が多いもんで。

メンバー：

だから流動性があるってことですな。

北野会長：

そう。あのね、いくら上がっても流動性のない株はダメ。本当よ。これね、売りに出しても売れないんやから。もう、悪女の深情けさ。本当。

メンバー：

売れないとダメですからね。

北野会長：

ダメ。あれね、買い手がいないと売れないんやて。だから、昔から何回かそんな目に遭って、もう最近は懲りたね。

サッチェル：

その出来高が大事だって前におっしゃっていたので、自分なりに選んだんですけども、選んだやつがことごとく塩づいちゃっていますけどね。

真田 孔明：

それは居合抜きできないの。

サッチェル：

売買が少なかった。1,000株単位のいいのがあるのでやってみただけど。売買が少ないと売れないの。買ってからもずっと下がっていったるんですもん。塩づいちゃって。わずかな額だからよかったけど

真田 孔明：

なんていうやつ？

サッチェル：

AKとかね。東証一部なんだけど。全然ダメで。

北野会長：

だから東証一部やから言うて甘い顔をしないとそういうことになる。

サッチェル：

そういうことなんですね。

北野会長：

絶対にあかんよ。昔から言うやない。売れる女と恋をしても売れる女はさ、私、美人やし、あんたが振ってもすぐ次の男を見つけるわけよ。ところが、ブスの深情けったらそこで出てくるわけよ。私、あんたしかおらん言うてずっとつながられてやぞ。

サッチェル：

そんな感じですよ。ずっとしがみつかれちゃって。離れないんですよ。

北野会長：

切るに切られず。売るに売れずと。これが一番、辛い。だから、そこはやっぱり皆さんも失敗しないように。売買の行き来のないものを掴むとそういうことになる。そういうやつは特に下がる率が高いの。上がったたり下がったりできんやろ？風の力がねえんやて。風か金か知らんけども。そんでね、上がったも売れんだ、言うても売れないの。あれほど腹の立つことないよ。10万株、売りに出して、例えば2万株が残った。これは納得できるって。ところが1万株しか出していないのに昨日も今日も全然、売れていない。なんじゃこりゃ言うて。出来高を見たら全くない。ああいうバカなことはやっぱり気をつけにゃあかんよ。だから、ブスには手を出さんこと。まず。わかった？

メンバー：

はい

北野会長：

我々、素人が勝つが、プロがどんだけ売っても買ってやるぞみたいようなそういう集団ができとるわけや。だもんで、どんどん反発心でこうやっていくがやつやから、強いんやて。この前は最後に負けたんやて、素人集団が。どこかで利食いして売ったんやて。今回はもう1回、踏ん張るぞみたいなので今、頑張っとるんじゃない？

サッチェル：

頑張っているんですかね。早く負けてほしいですけどね。

メンバー：

爆笑

真田 孔明：

上がり過ぎ。

北野会長：

俺は逆にいい上がりやなと。俺はだから五百何十円でも買った。俺、150円であんだけ集めてもまた五百何十円でもま、8,000円から見たらタダみたいなもんやから、そっちに入れとけみたいなもんで。

真田 孔明：

今は、どうなんだろうね。今も8,000円から見るタダみたいな。

北野会長：

こういう具合に考えてみて。もし、TDのあなたの福島。あの返済が全部、終わったとして。終わったとしたら、今、5,000億や・・収益が。俺が聞いたところでは。1兆5,000から2兆ほどや。トヨタなんか、あっちゅうに俺は抜くと思うんやて。俺の予想。俺の頭の予想はやよ。そうしたらさ、じゃ、あんたらちがさ、例えば失礼やけど750円で買って1年間、100円の配当を出すいうたらみんな買うが。利回りからいったって。

メンバー：

確かにそうですね。

メンバー：

すごいですね。

北野会長：

そうやる。そういうことを考えたら、やっぱ最低、五、六千円の株価が俺は正当でないかなとこう思っとるんやて。ここの除染が終わってみんなが帰ってやよ。年数が経っていけばいつしか昔の話をみんな忘れるがやて。人間は。だから8,000円に戻らんでも半分の四、五千円にはなるやろと。そんなこと言ったらトヨタかて・・ついバブルじゃなくて、あの前までは、今の総理大臣なんて言うやったかい。

メンバー：

安倍。

北野会長：

安倍さん。安倍さんになる前まではあれいくらやった。3,000円、4,000円やったんやよ？

サッチェル：

今、8000。

北野会長：

だから、皆さんはうちは1,250円の昔、買った。ただ、あこ固く俺がトヨタの車が好きやから海外で乗っていると特に故障しないからいいなと思ってトヨタの株を買っとるんやて。

真田 孔明：

レクサス。

北野会長：

ホント。ただ、それだけのやて。だから、やっぱり10年以上、安心して乗れる車や。故障がないの。それが俺が一番いいんでないかなと。俺の銘柄選びは余り根拠っていうのはねえやて。一目ぼれ。そんな感じやね。簡単な動機は本当にそんな感じ。

サッチェル：

なるほど。僕にない才能です。無理だ。俺。

北野会長：

毎日スナック、クラブ、例えば飲みに行っただと。パッと女の子がおってさ、お、あの子いいなと思うことあるやん。その名前をただ銘柄にあそこに入れとるだけや、こうやって。本当にそう。それ以外のことはあんまりないわ。あと、あの女、きっと若いけど伸びるんでないかなとか。だから、取り引きのない、そんな銘柄には絶対に手を出さないし、だから、流通の多い女を探す。流通の多くない者は大体ブス。よく、考えてみい、お前。そこさえ、間違いなくさ、捉えておけばそんなに失敗はないはずやよ。

サッチェル：

最近なんですけど、自分が買うと必ず下がったりとか。逆の方向に行っちゃうんですけど。

真田 孔明：

売ると。

サッチェル：

売ると上がるしみたいなの。

北野会長：

何か最初、そんなことを未練、残すな、金、残せが一番良かったみたいなのをああ、やっぱりね。そんな暇あるのね。全体会議やから、こんなものは。所詮はね。

サッチェル：

グループ内でも同じような人がいて、僕も一緒です、僕も一緒ですみたいなの、買うと必ず下がるみたいなの。

北野会長：

それはお前、考え方を変えにやどうしようもないやろ。

真田 孔明：

この間、香港株を800万円ほど買ったその瞬間、下がり出した 爆笑。3分の2になったまま・・・すぐに下がって。

サッチェル：

おもしろいように下がる。

北野会長：

あとはね、人間の力なんやて。3分の2のときにまだ買える力があつたら、そこで自分が好きやった女やから、もっと熱を上げていくがか、そこで未練、残すな、金、残せで、という二つに一つしかない。いつも。どちらかを選んで処理していかんとさ、俺はやっぱりぼっかけるほうやから。

サッチェル：

会長はほとんど損切りはされないんですか。

北野会長：

だから金持ちは損切りなんてしない。笑 本当にね、言うて失礼やけど覚えといて。貧乏人が株を投げ売りするがやよ。何で俺がそんなもん、別にね、そこから生まれる損じゃない。そんなもん。例えば300円で売って200円で買ったって、持っとる株数が減ったわけじゃなんでもねえ。評価が下がるとるだけやろ？何で俺が売るの。それはお前、貧乏人が例えば3,000万、持っとったら2,000万になってもっと下がったら困るからいうて投げ売りをするわけよ。

真田 孔明：

生きるための金を入れちゃっているから。

北野会長：

だから俺は投げは、俺は投げた株は買いたい。そういうタイプなんやて。だから、NDとかNYとか本当はものすごい未練がある。だから、例えばM銀行でもさ、160円、70円、80円ぐらいでウロウロしとった時期がずっとあるがやて・・・何年も。だから、もう100万株超えた、200万株超えた、300万株超えた。こういう感じのがやて。俺から言うと。昔、あの銘柄・・・昔やよ。例えば25万、今の250円だったね。880円ぐらいまで上がった。そのとき持ってたM銀行の株を売ってショッピングモールを1個、買った。何でやたら3倍、4倍ほどになっていたから買った値の3分の1以下や。ショッピングモールが。だから、行って来いやから、買っておくわと思って買った。たったそれだけや。そんなのほとんどそう。マンションでもさ、どこかの株を持っとって何かバカンと行ってしまったと、飛んだと。今、売ればこのマンション1棟、買えるなと思ったがや。これ暇潰しで買っとる。俺はショッピングモールもマンションも、もう全部、売りに出しとる。本当にそうよ。

真田 孔明：

買った日から売りに出すんですよね。

北野会長：

買った日から売りに出しとるんやから。

真田 孔明：

相場も情報が入ってきますよね。買った日から売りに出していれば。いくらで買いたい、買いたいていうのが。

北野会長：

今はね、すごくね、マンションもテナントビルもショッピングモールも値段が上がってんねん。これもどこで売るかさ。俺は仕入れたものは必ず売ろうと思っとる。一番楽なのはそれも一つのゲームやし、株なんて一番、固定資産税がかからんしさ、管理費がかからんしさ、でも、やっぱり考えるゲームもやっぱり持たないと寂しいやろ？そう思って今、そういうものは持っとるね。そういうのを例えば、誰々を、「お、社長にお前」こうやってこうしていくやん。管理してもらっとるや。元本がそんなような銭やから、あんまし心配せんでもいいわけよ。余り深く考えんとダラダラやっておいてくれと。後はエクセルか何かで集計表を出してさ、家賃収入とかさ、手直しの、そんなもんは知れとるやて。そういうのを抱いてもらって決算書をつくっていくと。だから、無理して働くと大体、貧乏するがやて。貧乏の母をつくっとるみたいなもん。それこそ、さっきの株の損切りが始まるわけよ、そうやよ。皆さん、一番ね、気をつけんのはそれ。だから、俺は動くな、働くなっていうのはそういうことを言っとるわけ。いくら考えてもいいんやから。最後の返済の20万があるうちはまだ勝っとるんやから、勝負としては。そこまで考えてもいいわけよ。2,000万の最後の20万の返済まで考えてもいいんやから、そこで勝てば。だから、それぐらいの余裕を持って心の余裕が一番大事やいうこと。

サッチェル：

信用取引は会長、ずっと持っているんですか。信用取引の。

北野会長：

持っとるよ。

サッチェル：

ということはあれですか。半年間のほうじゃなくて。

北野会長：

永遠のやつや。

サッチェル：

永遠の方を選んでいるってことですか。

真田 孔明：

ブレちゃう。

サッチェル：

ブレちゃいますね。5カ月にしちゃっている。

北野会長：

あのね、銀行から金はコンマいくつ。株をやるたびにさ、損するたびに銀行に融資、持って来い言えんやろがよ。だから、そんなもん別に3%でもね、ボランティア活動やと思えばさ。

真田 孔明：

僕たちみたいに貧乏な人たちは現金で置いておいて、これの3倍までバンバン売買を信用でやっているっていう形でいいんですよね。

北野会長：

信用で3倍。そこまでやったことないけど。

メンバー：

3倍。

サッチェル：

マックス3倍。3.3倍。

北野会長：

そうやる？

サッチェル：

基本は会長は現物でやられているんですか。

北野会長：

ほとんど現物やで。

サッチェル：

1日1回だけ取引している？いろいろな銘柄で。

北野会長：

それが多いし。混ぜ込んで、下がるとやつがあれば1年、下がるとってもそのままほっぽたるんやて。そうしたら、百五十何万やら利息かかるとるよみたいに書いてあったから、楽天に電話して「お前、これ、お前、計算、間違いねえやかい」って言うたら、これは年間3%、あなたはこれを2年ぐらいほったると。「え、そんな、ちょっと約定書を見てみみたいな」「約定書に書いてありますよ」言われてしもうて。

サッチェル：

基本はずっと持ち続けるっていうことですよ。

北野会長：

挟み撃ちがものすごい好きなんやて。どういことやいうと、300円で買うやろ？買ったやつが今200円なんやて。これを信用でやるとわかりやすく300万円や、これ、1万株な。今、200万のがちゃ。200万のが。そしたら俺から言うと、もし、200万から下があれば死ぬまで買ってたるわとこう思うわやて、死ぬまでやぞ。骨まで愛してくれっていうけど、死ぬまで愛するなんて言うの俺ぐらいしかいんやろが。そうすると、ここら辺から買いやすくなるがて。たった3分や、3%な。1年間や。そう思えばここで頭を押さえておくがやて。この上がり先を全部、取ってやろうかとこう思うわけよ。わかる？こっちでこう蓋をして、家から逃がさんぞみたいなような感じで。

サッチェル：

上を押さえてということですね。

北野会長：

そう。

サッチェル：

それもわかる。

北野会長：

上を押さえて、下を全部。

サッチェル：

かささらうと。

北野会長：

そう。かささらうがちゃ。

サッチェル：

そこに基準を1個設けると。そこにラインを引いて。囲い込む。下を全部取ってやろう。

北野会長：

だから、本当はね、あんたらちNの話もしたけど。四百二、三十円までいったやろ？だから、300円で買って220円かそこらぐらいまで下がった。その間、下がれば下がるほど買っとったんやよ。全部、10万株ずつぐらい買っとったんやから。それでね、あんたの言う通過はせんが。買ったここは押さえやから。300円を押さえるのがちゃ。それでも、この間、430円ぐらいまでになったときに420円やら30円ね、ポンと上がった。どこかの後で。でも、大分長いことつき合っとる女やから、全部、捨てるわけにいかんやろと。何十万株は持っとろうかなとこういうような気持ちね。寛大な気持ち。あの株はね、10万株、売りに出てもほとんどバンとその日で売れてっから。あれも、もとはね、我々がバブルで頂上におった時分、3,300円ぐらいまで行っ

た。俺はだからよく考えてみたら皆さんに恥ずかしけど、昔の女をいまだかつてぶっかける男なのかもしれんのやから。昔の値段知っとる、何でも。脳にね、こびりついてあかんが、本当に。わしらのね、昭和の終わりちゅうもんかさ、何が一番ね、飛ぶように飛んだかいうたら電気株。ホントよ。考えんと電気を買っとりゃ上がった。何々電って書いてありゃ。もう、すごかったんやから。あんたらち、今、株価いうたらもうひっくり返るような株価やちゃ。だから、それこそ10倍ぐらいの株がみんなついとった。だから、みんな思うのは毎日さ、TSがどうのこうの言うて言っとるやね。ホリエモンがごまかしたのは50億や。ほんで何年、行っとったん。2年、3年。

メンバー：

2年ぐらいですかね。

北野会長：

2年以上は行っとったよの。でも、TSのおじさんがやればみんな不問に処すよ。

真田 孔明：

1800億でも。

北野会長：

最後に言うがやちゃ。たった。1,800億のことで大騒ぎすることはねえ、それで終わり。今からあんたらちもよく気をつけとらんといけんよ。この中で誰か1人ぐらいは飛び抜けるやつがおる。1人や。ホリエモンみたいな万が一なったら、必ず潰される。覚えとかれ。必ず。これが世の掟やから。若いときに一気にガッと行くと大体カチンってやられる頭。あれ誰がやっとるか言うて、じじどもなんやて。体がいうこときかんやろ？頭はズベズベやろ？体力はない、気力もない。こういう人たちはひがみはあるがやちが。このひがみにやられるが。みんな。あのときの何か銀行の頭取。銀行のあれにしたって、みんなそうやろ。罰することのできん年寄ばかりや。経済はいつもそんなや。わしがそこに反目を打ってみなさんにこういうことを言うとるんやから。そんな時代をつくらにゃあかん。でも、日本の国も独立するもんおらんが。あんたらちには失礼やけど。そういうね、反骨心、半端者がおらんちゅうこと。本当は弱っとるわけや。そうやろ？何に書いてあるやて。ホリエモンの名前を知っとっても、じゃあ、東芝の社長の名前を知っとるの誰かいる。おらんやろ？これが人間の真実のがやて。松下幸之助は知っとっても、じゃ、今のパナソニックの社長の名前、誰か知っとる者おる？こんなの興味もクソもないもんやぞ。みんな。それが世の中。人っていうのはみんな、今、言ったもんさ。だから、若いときに強くなりゃいじめに来るもん。仕方のない生物やいうて。それは江戸の昔からも一緒やろと思うけどもね。

真田 孔明：

ビジネスで拡大していくとすぐに目立っちゃうんですけど、株でいくら売買しても目立たないからいいですよ。

北野会長：

目立たん。

真田 孔明：

ビジネスだとすぐ結構、市場シェアが大きくなっちゃうと目立っちゃいますよね。ヤフオクでもアマゾンでもそうですけど。

北野会長：

だから、結局ね、いつも言う日本の本当の大金持ちっていうのは職業無職。スラッと生きとん。3代前ほどのベンツにフラフラッと乗りながら大金をガボガボッと吸い上げとる。

真田 孔明：

3代前のベンツっていうのがポイントですね 笑。最新じゃないっていうのが。

北野会長：

だからそれぐらいみんなシンプル。シンプル・オブ・ザ・ベストさ。ここに彼は利点を置いとる。点を。ここに彼らはね、絶対にそれをね、破ってこん。絶対に破らんがやから。覚えとかれ。目立たんやつが本当の金持ちさ。だから、創業者はみんな、せめて名前を聞いたことあるがやて。でも、そんなね、後は誰がやととる、よう見てみられま。年表を書いて見れみら。東大卒、慶応卒とかね、京大卒。わかる？それはだから完成したものを維持するためのバ間違わん人。それでも東芝なんて、あんたひどい間違ごうとるんやから。

真田 孔明：

東芝の社長、かわいそうですよね。あれ。全然、何か誰でもいい社長、弱い人がつかまされているみたいな。

北野会長：

だからああいう人を世間は処罰せいとも、誰も言わないの。

真田 孔明：

本当にかわいそうな感じで。1代前、2代前の社長悪そうですよね。あえてその人に当てたのかもしれないですね。もしかしたら。

メンバー：

確かに。

真田 孔明：

あえて。ちょっと大きくなってきた粉飾決算とか・・・誰かいないかなと。

北野会長：

あれはどんだけ喚問しても何をしてもしようもないが。私は選ばれてなって、こうしなさいって言われてただけやからいうて、そんな罪の意識も犯罪者でもないやろ？やっぱり自分が判子を押したかもしれんちゃね、それぐらいの罪さ。でも、ホリエモンとかさ、村上は何でやられたかいうたら、じじどもがひがんだわけよ。野郎は女にもモテて、ポルシェに乗ったり、フェラーリに乗ってさ。目立ち過ぎとっと。テレビでバンバン来ると。こう思うわけよ。もし、あのときに日本テレビとかさ、買収をかけたときにもし、やったら今ごろ、皆さん、あんたらちの時代。あのときに潰された。あんたらちも1回、だから殺されとるわけよ。

真田 孔明：

ネット組はあれで信用が落ちましたからね。インターネットが。昔だったらインターネットの管理者名がついてただけで株価が上がった。その証拠にバンダイグループの中でハピネットっていう卸売問屋があるのですよ。これ、ハピネットってネットと間違えられてドンって株価（上がった）。笑 全社員、数千人いるんですよ。卸売だから。ですけど、たった1人だけだったのです。7億、売り抜けたっていう。あとは全部持っていて、でも、みんなバレちゃうハピネットって名前がネットなだけ。暴落してみんな何も無い。一瞬だけ大富豪になった、みんな。ハピネットで。1人だけでしたね。7億。

北野会長：

世の中ちゃ、本当にね、俺はいつも皆さんに言うけど8割が運、1割の勘、1割の努力。投信でも株でもそうやけど、そのとき何か思いついてさ、買ったと。何か情報で買ったと。それが小金持ちになるもとなったり何でもするがやから。でも、一番いいのは俺から言うが一番最近ね、俺もいいのはやっぱり小波を安定した経済を永遠に取っていくと。例えば、TDが5倍になったから売ろう。5倍になったら売らなくなる。これがまたおもしろい。人間ちゃ。昔ね、何かお客さん、お客さんちゅうのかね。情報で、アメリカンバンクか何かね、2.5ドルほどやった。80円の時。日本円にしたら200円ほどね。今、十五、六ドルしとるわいね。そしたら、2.5まで落ちるいう心配いらんやろ。そうすると人間ちゃバカやから強気になるがちゃ。これはね、あんたらちも気づけられ。俺はだからいつかこういうので逆にやられるんでないかなという心配もしとるんやけど、本当に。

真田 孔明：

そういうときにどういう間違いを犯すのですか？

北野会長：

間違いはまだ起きたことないもんやから心配なんや。これ1回、何か間違いを経験すればわかるんやけど、まだ、TSとかさ、そこら辺で余り間違いがないんやて。ただSBで持っとるだけやろ。Tでも。何となくTが潰れると思わんから。例えばT、1万株、朝下がった玉を入れてさ、下がった玉を3日目やなと思ってT、下がっておいだ1万株を入れとるやて。朝、60円やら80円やら上がったとったら80万やから、俺にしたらさっと食うわな。持っとる株はずっと氷漬けに

ずっと株は持っとるよ。でも、毎日、食事するお金も必要やないかい。だから、そういう具合に売り抜けとる。また、これがね、空気を吸うとるようにまた気持ちがいいんやて。

真田 孔明：

もう勝ちが確定して、中で売りをチビチビやっていく。

北野会長：

ずっと一緒に株を持っとるから、すごく何か状態がわかっとるんやて。要は。寝とる女はよくわかっとる言う男の言葉がよくあるやん。それと一緒に感覚や。だから、一緒に人とずっとつき合っとると、結構なものはわかりますよと。

サッチェル：

弾を持って現物に移行しないとダメですね。

北野会長：

今は一緒。どっちで稼いでも。細い銭を扱とるうちは。でも、300万で30万、40万、稼げるいうことはもし、あんたが3億の銭で一緒にの事しとったらいくら稼げるいうことになる？俺を抜いとるちゅうこと。本当に。ホントそうやよ。

サッチェル：

すごいですね。居合抜きって。

北野会長：

これよりもっとすごいやは、辻斬りのがやて。人生の中で1発、この間、上海は割ったけど、長いことぼっかけとってさ、例えば日本株でもやよ。何か変だと風が吹き始めてさ。台風と同じさ。必ず、必ずニュースになるんやから。南太平洋に960ミリバールの。日本に向かっていきますみたいなことを言っとるやろ？必ずあれがあるが。どんなね、暴落の前でも必ずある。慌てて売ったらダメ。覚えとかれ。いくらね、左の肩口から切って落とすがやけど、慌てたらあかんが。これね、人間はね、嵐の前が一番ね、株も上がったんがやから。ほれでね、必ずこんな風、吹いとる中でも上がる。これは風の力で上がったとる。わかった？それで、カンと来るやろ。このカンと1回、下がったこのここを見極められたらドカンと来る。必ず。ここで取れば一番甘い。そんなね、1円、100円なんていうもんじゃねえから。わかった？

サッチェル：

そこで空売りをかけるってということですか？

北野会長：

そう、まずね、俺、昔ね、俺が助かったのは持っとる玉をみんな売った、1回ね。そこで。持っとる玉を売った。これ、証券会社の担当者に聞いたら社長、もう1回それ、下がって儲かれば売られたらって。俺、同じ玉をもう1回、空売りしたんやて。ダって下がるやろ？いや、と思っ

てそこで手仕舞いすればよかったんやけど、せんと次の日、また下がる。俺、金っていうのはこんなに簡単に儲かる。儲かるんやから。

サッチェル：

それがあなどっちゃいけないっていう。

北野会長：

そうそう。だから、本当のいいタイミングでないと切ってはあかん。人がいないのに刀だけを振り下ろしても殺せんやろがよ。

サッチェル：

確かにそうですね。

北野会長：

そうやる。それを見えたときに落とさなきゃ。

真田 孔明：

今回の上海とかの難しいのは1日、遡ったら次の日には上がっちゃってましたよね。バンと。

北野会長：

何日か下がって、政府がテコ入れする言ったときに上がったんでなかったかな？確かそうやったと思うよ。

サッチェル：

1回上がって、また下がって。

真田 孔明：

次の日に上がって。

サッチェル：

ちょっと上がってまた下がって。

北野会長：

必ず一緒なんやよ。だから、今、その呼吸はそういうことのがちゃ。1回で息が切れない。下り相場でも。カン言うて下がるやろ？必ずここで今度、買いに来るやつがおっから上がるんやて。

サッチェル：

上がりました。上がりました。

北野会長：

ところがこの上がり5%よりも売りが余計になるもんでまた下がるやて。こうやって。下りが長えって。この下り坂が。上がりは階段が短い。こんな感じでしか上がっていかんやて。下がりにはドカン、チョン。ドカン、チョンのがやて。だから、この下りを1枚、見つければ俺から言うと何億かはスッと抜ける。それをETFが上がる、シンガポールからアジア全部の通貨ね。それからユーロ圏にしたって、どこにしたって通貨も一緒。通貨を見とればさ、必ず通貨は上がったたり下がったりしとるんやから。それも同じことなんやて。ただ、それだけ。だから、例えば今、例えばタイ。タイの話をしたらみんなわかっから。2.5で買えば4,000パーツ当たるわけやないかい。そうやる？4,000パーツ。1万円で4,000パーツ。1万円で4,000パーツやな。今、3.6や。そしたら3,000パーツ当たったか、当たらんかほどや。そういうことを頭の中、わかっとる人とわかっとらん人おっから、とりあえず話として聞いておいて。だから、そこのバランスさ・・バランス。だから、そこが海外へしょっちゅう私は出るというのはそこのバランスを見に行っとるわけや。そうすると肌で感じるがやて、肌で。だから、昔からほ、働いて何ぼ、時給という言葉があんだかね。だから、森さんじゃなくて、総理大臣は？

メンバー：

安倍

北野会長：

安倍さんが言うところ。1時間の時給。時給を高くするという話をしとるやろ。あんたらちね、時給を高くすると。出す金をもっとふやすということ。Kの下にNという人が入った。あの人は何せ、200兆、印刷する言うところんやから。

真田 孔明：

年間。

北野会長：

バカげた話を考えとるわけ。ところがあとね、あの張ったりだけでも中国の船があんだけ来るんやから。いらっしゃい、いらっしゃい、太鼓を叩いとるみたいなもんの。あれ、全部ウソかもしれんのよ。でも、ああやれば日本の通貨はもっと安くなるがやから、もっといい日本の薬やら湿布薬やら、お釜か何か知らん・・炊飯器。みんな買っとるやろ？みんな同じことが現象が起きる・・世界中で。そういうような今、感覚が特に広がっとる。政府は何を考えとっかいうたら、どんどん税金を上げていく。これだけ。日本ピンハネ興業やから。どんどんピンハネする。あの逆風には勝てんかもしれんけれども、あれの逆風に勝つのはただ一つ。3年ぐらい前から知っとる、それは株式だけ。税金がかからん。だから、サッチェルが40万儲けたら普通の税金はいくらかかる？そういう具合に例えば480万を年間、儲けたと。480万、給料でもらったと。絶対、株のほうが残っていくがや。

真田 孔明：

ビジネスだとね、取られちゃいますよね。

北野会長：

この前の会合で言うたビル・ゲイツの給料が5,000万円ほどのやから。たった給料が5,000万円。でも、彼は世界の1番の金持ち。どこかに矛盾しとらんかい？ということは丸っこ給料からもらった所得じゃないことや。空から降ってきたわけや。そんな矛盾した話もないやろ。バッと投げて相場が下がる日があるやろ？あのときに金を持っとればどんどん買える。ところが金のない人はあの日に売るがやちゃね。売る人は冒頭の1番に戻って貧乏の人、貧乏の人が売るのが。下がったから言うて貧乏の人がこれ以上下がったら来月の家賃が払えないわいって売るわけよ。金の持っとる人はそれを横目に見ながらさ、ガッサリ底を拾らっていく。今度、売った人は思うわけよ。何で売ったんやろ？もう1回、買おういうて。また、高値になったら買うわけよ。同じことを永遠にするがやて・・・人間は。だから、永遠に高値で掴む人は高値を買って、安値で買う人は永遠に安値で買っとるだけ。病気みたいなもんやから。おあいそ終わったの？じゃ、解散するわ。ありがとう。

メンバー：

ごちそうさまです。

北野会長：

明日、どこやて？

真田 孔明：

明日はですね。

北野会長：

六本木やとかじゃなかるうね。

真田 孔明：

芝公園、東京タワーの横です。

北野会長：

フロントから見えた。部屋から見えた。皆さん、気をつけてお帰りください。僕は下の階に行っ
て泊まっていますから。見送りします。